

学生が企業にアイデア

岐阜聖徳学園大 課題解決を提案



関係者を前にプレゼンテーションする
学生ら＝岐阜市中鵜、岐阜聖徳学園大
岐阜キャンパス

岐阜聖徳学園大は21日、岐阜信用金庫、県信用保証協会と連携した科目「キャリアデザイン」の成果発表会を岐阜市中鵜の同大岐阜キャンパスで行った。経済情報学部3、4年生80人が企業の「次なる一手」をテーマにプレゼンテーションした。

3者は2015年、連携協定を締結。紹介された協力企業がこの科目の授業に参加する。学生たちは4、7月に、現状分析、マーケティングなどビジネスの課題解決の方法を15回シリーズで学んできた。

式で発表した。ターゲット層の絞り込み、新たな協力相手の開拓、会員制交流サイト(SNS)を使った広告宣伝など、学生らしいアイデアをプレゼンした。西山社長は「短期間で課題、リスクなどを考えてくれた。ビジネス分野の次なる一手を常に考え、チャレンジもいとわない学生を頼もしく感じた」と喜んでいた。

その後、学生たちは、岐阜新聞社(岐阜市)に対するプレゼンも行った。

(三輪真大)